

## 大町市議会議員定数等検討委員会（第7回）会議概要

- 1 開催日時 平成24年10月5日（金）午後1時00分から午後2時00分
- 2 開催場所 市役所第3会議室
- 3 出席委員 八木 聡（委員長） 眞嶋 強志（副委員長）  
松島 吉子 太田 昭司  
高橋 正 中牧 盛登  
一本木基善（公募委員） 大日方三郎（公募委員）
- 4 会議事項
  - （1） 前回の会議概要確認
  - （2） 視察研修の実施について
  - （3） 今後の研究課題について
  - （4） 議員活動実態調査実施上の課題等について
- 5 会議内容（決定事項等）
  - （1） 前回の会議概要の確認
    - ・ 前回の会議概要について確認した。
  - （2） 視察研修の実施について
    - ・ 委員長より資料に沿って説明する。飯田市議会の取り組みは全国的にも評価が高く、江藤先生も評価されていることから最優先で視察したい。また、2常任委員会制を採用している市議会の状況も調査したい。
    - ・ 期日、日程、移動時間等を考慮して、11月12日（月）を第1希望として、11月9日（金）を第2希望として、飯田市議会と駒ヶ根市議会を視察先として決定した。  
（※注：後日日程調整を行い、期日を11月9日（金）に決定した。）
  - （3） 今後の研究課題について
    - ・ 委員長より資料に沿って説明する。来年12月の答申を目指して、視察研修と含めて17回の委員会を開催する。調査・検討・議論等の時間が少なければ、回数を増やす可能性もある。  
（委員からの意見）
      - ・ 会津若松市議会の報告書を基に勉強会を行ってはどうか。
      - ・ これまで話を聞いたことのある専門家以外の話も聞いてみたい。
      - ・ 視察研修で飯田市議会と駒ヶ根市議会において調査した結果をもとに、他の市議会にもアンケート形式で調査を行ってはどうか。

- ・長野県は他県に比べて議員の数が少ない。市で2委員会構成というところはほとんどないのではないかと。仮に3委員会として複数所属とすると、議員一人が行政の3分の2を担当することになる。現状の3分の1から担当分野が増えることになる。飯田市議会は4委員会であるが、1議員あたり2委員会に所属することから担当分野は2分の1となる。議員定数を減らすなら2委員会制を採用するのが有力ではないか。
- ・県内市議会の状況を見ても、1委員会の構成人数は6人が限界ではないか。以前7～8人であった頃の方が、元気があったように感じる。
- ・現状の1委員会6人では、活発に意見が出てこない。数人が発言して、後はほとんど発言がない。
- ・この委員会は定数を何人にするという前提があって議論を進めるのか。行政と議会は車の両輪に例えられる。仮に、議員定数を削減する＝チェック機能が低下するのであれば、バランスを取るために行政側の規模も小さくする必要があるのではないか。
- ・行政と議会は2台の車が並走していると考えている。時には議会が先行して道しるべとなり、時には後ろから押すこともある。最近ますます両輪ではなくなっていると感じている。
- ・この委員会としての前提はない。個々の委員としての意見はあると思うが、先進地視察や「7つの根拠」を基に総合的に検討しながら、委員会として結論を出せばよいと考えている。
- ・公募委員からの意見は、市民を代表する意味で重みのあるものと考ええる。

#### (4) 議員活動実態調査実施上の課題等について

- ・9月1日から調査を開始して1か月ほど経過したが、課題などがあれば共有したい。

##### (委員からの意見)

- ・本会議などの休憩時間を活動時間に含めるかどうか。
  - 拘束時間に含まれるので、休憩時間も含めて記入することに決定する。
- ・ボランティア活動はどこに含まれるかと聞かれたが、個人的な活動であり議員活動に含まれないと考えるがどうか。
  - そのとおりである。
- ・目的を持って自主的に活動して結果が得られるものは議員活動と言えるのではないかと。
  - 明確に線引きが難しいものの中にはあるので、その他欄に記載して、委員会で検討する。